

久留米聖火リレー 第2回 「ケニア大使インタビュー」

東京2020オリンピック・パラリンピック大会の事前キャンプ地として、久留米市はケニア共和国とカザフスタン共和国の選手をお迎えします。そこで今回は、ケニア共和国を代表し、駐日ケニア共和国大使館のソロモン・K・マイナ特命全権大使に久留米市の印象やオリンピックへの期待について、お話をお伺いしました。



久留米市の印象をお聞かせください。



「久留米市を初めて訪れたのは2年前になります。4回ほど訪れていますが、福岡空港に降り立って車で移動するたびに、福岡の美しい街並みを楽しんでいます。

久留米市はコンパクトなスマートシティで、自然溢れる美しい街並みがとても印象に残っています。宿泊したホテルマリターレ創世も代々受け継がれてきた歴史のある美しいホテルでした。

人口30万人の小さな都市でありながら、世界的に有名なブリヂストンの発祥地であり、久留米市は経済都市でもあります。なおかつ歴史があり、著名なアーティストや画家も多く輩出している。すばらしい歴史を積み重ねてこられたことを誇りたいです」